

ナンバリングコード/科目番号	01EQ506																																	
授業科目名	ヒューマン・ケア科学方法論Ⅲ																																	
授業形態	講義																																	
標準履修年次	1・2																																	
実施学期・曜時限等	秋B・集中																																	
単位数	1																																	
担当教員名	柳 久子,水上 勝義,水野 智美,橋爪 祐美																																	
オフィスアワー等	随時 メール(hyanagi@md.tsukuba.ac.jp)で連絡してから訪問すること。																																	
学位プログラム・コンピテンスとの関係																																		
授業の到達目標(学修成果)	対人援助にかかわる諸問題を、さまざまな学問分野から交叉的かつ体系的に把握し、基礎的な知識および研究方法を理解することができる。																																	
他の授業科目との関連	0BTJ001 ヒューマン・ケア科学特論Ⅰ、0BTJ002 ヒューマンケア科学特論Ⅱ																																	
履修条件	なし																																	
授業概要	対人援助にかかわる諸問題を、さまざまな学問分野から交叉的かつ体系的に把握し、基礎的な知識および研究方法を学ぶ。すなわち、対人援助の基本として対象の対人的理解、援助方法の策定と介入、そして対象の置かれている状況の社会的制度的理解と援助について、共生教育学、臨床心理学の分野から論じるとともに、研究法を概説する。																																	
キーワード	福祉医療学、福祉社会学、ストレスマネジメント、高齢者ケアリング学																																	
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>担当教員</th> <th>授業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>柳 久子</td> <td>地域における保健・医療・福祉に関する実践的研究に必要な知識や技術について概説する。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>柳 久子</td> <td>地域における保健・医療・福祉に関する実践的研究に使用できる研究方法について解説する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>水野 智美</td> <td>障害児者を取り巻く問題のなかでも、特に発達障害児・者およびその家族の抱える問題と対応策に関する研究法を解説する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>水野 智美</td> <td>発達段階に応じて、身体障害、発達障害のある人の理解をどのように促す教育を行えばよいのかに関する研究法を解説する。</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>橋爪 祐美</td> <td>1.高齢者ケアリング学の分野から専門職自身の家族介護、移住外国人の家族介護支援問題および多世代共生型ケアに関わる研究課題を論じる。</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>橋爪 祐美</td> <td>2.1.の各研究課題について具体的な研究アプローチを概説する。</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>水上 勝義</td> <td>ストレスやストレスマネジメントの問題に係る研究について概説する。</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>水上 勝義</td> <td>高齢者のメンタルヘルス、ヘルスプロモーションなどの問題に係る研究について概説する。</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	回	担当教員	授業内容	1	柳 久子	地域における保健・医療・福祉に関する実践的研究に必要な知識や技術について概説する。	2	柳 久子	地域における保健・医療・福祉に関する実践的研究に使用できる研究方法について解説する。	3	水野 智美	障害児者を取り巻く問題のなかでも、特に発達障害児・者およびその家族の抱える問題と対応策に関する研究法を解説する。	4	水野 智美	発達段階に応じて、身体障害、発達障害のある人の理解をどのように促す教育を行えばよいのかに関する研究法を解説する。	5	橋爪 祐美	1.高齢者ケアリング学の分野から専門職自身の家族介護、移住外国人の家族介護支援問題および多世代共生型ケアに関わる研究課題を論じる。	6	橋爪 祐美	2.1.の各研究課題について具体的な研究アプローチを概説する。	7	水上 勝義	ストレスやストレスマネジメントの問題に係る研究について概説する。	8	水上 勝義	高齢者のメンタルヘルス、ヘルスプロモーションなどの問題に係る研究について概説する。	9			10		
回	担当教員	授業内容																																
1	柳 久子	地域における保健・医療・福祉に関する実践的研究に必要な知識や技術について概説する。																																
2	柳 久子	地域における保健・医療・福祉に関する実践的研究に使用できる研究方法について解説する。																																
3	水野 智美	障害児者を取り巻く問題のなかでも、特に発達障害児・者およびその家族の抱える問題と対応策に関する研究法を解説する。																																
4	水野 智美	発達段階に応じて、身体障害、発達障害のある人の理解をどのように促す教育を行えばよいのかに関する研究法を解説する。																																
5	橋爪 祐美	1.高齢者ケアリング学の分野から専門職自身の家族介護、移住外国人の家族介護支援問題および多世代共生型ケアに関わる研究課題を論じる。																																
6	橋爪 祐美	2.1.の各研究課題について具体的な研究アプローチを概説する。																																
7	水上 勝義	ストレスやストレスマネジメントの問題に係る研究について概説する。																																
8	水上 勝義	高齢者のメンタルヘルス、ヘルスプロモーションなどの問題に係る研究について概説する。																																
9																																		
10																																		
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義(100%)																																	

成績評価方法	出席状況と各担当教員出題によるレポートにより評価する。
教材・参考文献・配布資料等	特に定めない。
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点)	博士論文成果発表会の出席を授業の一部とする。